今月のソリューション事例

エフセキュア

通信事業者向けセキュリティソリューションがエキサイトのセキュリティサービスに採用

エフセキュアが通信事業者経由で提供しているセキュリティソリューション「エフセキュア プロテクション サービス コンシューマ」が、エキサイトの新しいセキュリティサービス、「Exciteインターネットセキュリティ」に採用され、昨年11月より提供されている。

エフセキュアが通信事業者経由で提供しているエフセキュア プロテクション サービス コンシューマは、ウイルス対策、スパイウェア対策、ファイアウォール、ペアレンタルコントロール、スパムメール対策、フィッシング対策を総合的に提供するセキュリティソリューションである。昨年11月1日よりExciteインターネットセキュリティとしてエキサイトを通じて提供されている。同サービスは、WindowsとMacを対象に、1ライセンスで合計3台まで自由に組み合わせて利用できるもので、フィッシング詐欺やドライブバイダウンロード、SEOポイズニングなどのWindowsやMacなどのOSに依存しないネット経由の脅威が多様化していることから、WindowsとMac、どちらのユーザーにも最適である。

総合的なインターネット情報サービスを目指すポータルサイトのエキサイトは、インターネットプロバイダサービスを提供しており、情報サービスを扱う企業としてセキュリティに関する情報発信に努めている。今回、ユーザーのセキュリティ対策をサポートすることで、安心して楽しめるインターネットライフの実現に貢献するため、エフセキュア プロテクション サービス コンシューマを新たに導入した。

エフセキュア プロテクション サービス コンシューマは、ユーザーインタフェースやソフトウェアのカスタマイズなど、通信事業者のブランディングに柔軟に対応することができるのが特徴である。

エフセキュア㈱　E-mail：japan@f-secure.co.jp

ミラクル・リナックス

日立電線ネットワークスが「Asianux Server 3」をアプライアンス製品のOSに採用

ミラクル・リナックスは、日立電線ネットワークスが開発・提供するネットワークやセキュリティなどのアプライアンス製品「Adapterシリーズ」のOSとして、同社の「Asianux Server 3 ==MIRACLE LINUX V5」が採用されたことを発表した。

日立電線ネットワークスでは、従来、コミュニティベースの非商用Linux OSを採用していたが、「Adapterシリーズ」のさらなる拡販を目指し、トラブル発生時にも手厚いサポートが可能な商用Linux OSへの移行を検討していた。採用にあたっては、Adapterシリーズの将来的な機能拡張にも柔軟に対応できることが、OS選定の必要条件となっていた。そして同社では、複数の商用Linux OSを比較検討した結果、国内に問い合わせの窓口を持ち、日本人による日本語でのサポートに定評のあるミラクル・リナックスのAsianux Server 3が最適であると判断した。同社が開発したアプライアンス製品はAsianux Server 3 ==MIRACLE LINUX V5で供給されている。

Asianux Server 3 ==MIRACLE LINUX V5は、アジア市場に最適化したAsianux Serverをベースに、日本発の国産OSとして、日本のエンジニアが国内市場の要望に合わせて開発したものである。アジア各国や国内で豊富な導入実績を持ち、The Linux Foundationが定めたLinuxの標準仕様であるCGL（Carrier Grade Linux）3.2の機能に対応するなど、エンタープライズ環境でも安心して利用できる製品である。

日立電線ネットワークスでは、このような特長を持つAsianux Server 3 ==MIRACLE LINUX V5とミラクル・リナックスのサポートを高く評価し、2010年度中には全てのAdapterシリーズのOSをAsianux Server 3 ==MIRACLE LINUX V5に移行する予定だ。

ミラクル・リナックス㈱　E-mail：press@miraclelinux.com